

# 東海学院大学の教育方針（平成28年度入学者対象）

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成に関する方針）

教育課程は、前期、後期の2学期制をとっています。前・後期は、卒業の要件に算入される教養科目、学部共通科目及び専門科目によって教育課程が編成され、レベルや年次を考慮した体系的かつバランスのとれた科目配置をしています。

### 1. 教養科目

専門教育だけに偏ることなく幅広い教養と的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図ることを目的とした科目であり、総合大学の特長を生かして、多数の科目を開講しています。

- ・「基礎ゼミナールⅠ」及び「基礎ゼミナールⅡ」は、学士課程への円滑な移行に必要な教育及び専門への導入のための基礎段階の演習科目です。
- ・「情報処理技能を高める科目」は、情報社会を主体的に生きるために必要な情報リテラシーの基礎を培う科目です。

### 2. 学部共通科目

専門への導入的役割を果たす科目であります。当該科目には、各学部・学科が専門を学ぶ上で必要と考える独自の科目を開講しています。

### 3. 専門科目

各学科の掲げる目的及び養成する人材を育成するため、講義、演習、実験・実習科目によって専門知識を学び、技術を身につけることができます。開講科目は、基礎的な科目から応用・発展的な科目へと移行し、卒業研究へとつながる系統的・体系的な編成がなされるとともに、免許・資格取得につながるコースなど、目標・進路に応じた教育課程になっています。

### 4. 教職及び司書教諭に関する科目

各学部・学科で主として養成する人材に加え、さらに意欲的に取り組んで可能性を拡げ、将来の目標や進路が実現できるよう教職及び司書教諭に関する科目を開講しています。

### 5. 資格科目

卒業要件に算入される教養科目・学部共通科目及び専門科目を開講する前・後期とは別に自由科目を設定し、本学独自の教育科目（全学プログラムと学科プログラム）を開講し、特別単位を認定しています。

資格科目のめざすところは、学生の主体的・自立的な「自己教育力」の開発・伸長を期待して、「教えこむ」という面より「学びとる」という面を強調するとともに、学生が健康で充実した学生生活を過ごし、卒業時に必要とされる「学士力」や「社会人基礎力」を修得させるもので、通常のカリキュラムでは実施できない内容を盛り込んでいます。

よって、個々の学生の多様な学習欲求や社会からの要望に対応して、以下の内容を主とする資格科目を構成し、学生に多様な選択の機会を与え、バランスのとれた人間教育を行うものです。

- ①学生の内発的要求にかなうもの
- ②共同研究やフィールドワークなどを通じて協調性や指導力などの資質を磨くもの
- ③情報を正しく収集して現実の社会を理解する力を身につけるもの
- ④学生の健康・体力づくりを支援するもの

- ⑤専門分野の研究などを通じて自己と社会との関わりについて考えを深め、前に踏み出す力となるもの
- ⑥望ましい職業観・勤労観、職業に関する知識・技能、進路選択に必要な能力や心構えを養うもの
- ⑦専門科目の授業内容を理解する上で必要である基礎学力の不足を補うもの

#### ・全学プログラム

総合大学の特長を活かして、「教養講座（講義、実習）」「健康・体力づくり講座（実技）」「資格対策講座」「キャリア教育講座」「特別講座」「研究プロジェクト提供講座」及び「リメディアル教育講座」を全学生対象に開講しています。

学科の特性を活かして、学生の学力の充実・伸長に役立ち、専門分野の研究を通じて自己と社会との関わりについて考えを深められ、また取得した資格・免許が社会の第一線で活かされるようなプログラムを学科所属の学生のみを対象に開講します。特に論理的思考力、課題解決力、自己表現力、チームワーク、指導力及び行動力を培える教育内容を取り入れます。

#### ●総合福祉学科

本学科には学科の目的を達成するために、社会福祉領域、臨床工学領域、社会体育領域の3つがあります。

まず、「社会福祉コース」では、教養科目、学部共通科目、専門科目、関連科目の構造のもとで、実際に人と接する際に不可欠となる相手を尊重する態度、身体の知識、こころの理解、介護の技術、医療の福祉の知識を深く学びながら、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士などの各種資格が取得できる教育課程となっています。

次に「臨床工学コース」では、教養科目、学部共通科目、専門科目、関連科目の構造のもとで、実際に人と接する際に不可欠となる相手を尊重する態度、身体の知識、こころの理解、介護の技術、医療の福祉の知識を深く学びながら、現代の福祉環境を多角的、多面的に理解し、医療事務や医療知識と技能を学ぶことができるように教育課程を配慮しています。そして、臨床工学技士として医療福祉サービス関連企業、行政機関など幅広い領域で活躍できるカリキュラムとなっています。

「社会体育コース」では、「スポーツ」「ソーシャルワーク」の視野から健康と福祉を学び、学生それぞれが目指す将来にあわせた適切な学びに学生を導きます。学生は、まず健康と福祉に関する基礎的な知識を養い、その後、本人の関心や目指す職業、目標資格などに応じて、ソーシャルワーク系、社会体育系の学問系統から、より専門的な学びを実践していきます。自らの関心や意欲にあわせてフレキシブル（柔軟）に科目を選択することが可能で、幅広い見識と視野をもった、健康と福祉の専門家を養成していきます。

#### ●管理栄養学科

本学科で養成する「管理栄養士」とは、傷病者と健康管理を必要とする人を対象とした栄養管理を行う医療系専門職で、厚生労働省が定める所定のカリキュラムを修了することで、国家試験の受験資格を得ることができます。教育課程編成の方針は次のとおりです。

1年次から4年次にかけて、幅広い教養と人間性を身につける教養科目、学部共通科目を配当し、専門科目は1年次より4年次まで、順次基礎から応用へ進みながら履修できるように配当しています。

4年次では、臨床栄養学の集大成としての卒業研究を設けています。専門科目については、コア、サブ、アップグレード、資格、集大成の5グループに整理し、1年次後期から順次履修できるよう授業科目を配当しています。

##### 1. コア科目

管理栄養士国家試験受験に必修の科目です。

##### 2. サブ科目

コア科目の内容を補強、又はより発展させる科目やコミュニケーション力育成の科目です。

##### 3. アップグレード科目

管理栄養士の資格を生かして各方面で活躍するために役立つ応用科目で、以下の4分野を設けています。

①臨床や医療での専門性を伸ばす、臨床検査技師分野

②行政職や教育職を目指す、栄養教諭分野

③食品開発や食品管理の専門家としての、栄養士分野

④研究職と健康のアドバイザーや研究開発の専門家としての、管理栄養士分野

#### 4. 資格科目

栄養教諭などの教員免許状取得に必要な科目です。

#### 5. 集大成科目

問題発見・解決能力、プレゼンテーション能力を養成する健康栄養総合演習Ⅰ・Ⅱ、臨床検査総合学、卒業研究です。

### ●心理学科

人間関係を築き自己実現を目指すために欠かせない、人間関係学と心理学、並びに言語学やコミュニケーション活動の援助に関する知識と技術を学び、社会の一員として豊かな人生を創造するための具体的な見識を身につけた人材の育成を目指した教育課程を編成しています。

教育課程編成の方針は次のとおりです。

#### 1. 対人援助における知識や技術を具体的に学ぶ

情報過多の現代社会のなかで自己実現を目指すためには、こころのメカニズムを学ぶ心理学、人の生活を支えるための理論と実践を学ぶ医療をはじめ対人援助や情報活用に関する知識や技術が必要です。これらの科目を通して、豊かな人生を送るための基礎や具体的な方法を身につけることをめざします。

#### 2. 「心理カウンセラー」、「言語聴覚」、「救急救命」の3領域で学ぶ

2年次からは専門性を高めるため、こころの専門家を育成する「心理カウンセラーコース」、ことばによるコミュニケーション専門サービス提供者を育成する「言語聴覚コース」、ホスピタルケアを意識した救急医療者を育成する「救急救命コース」に分かれます。

##### 〔心理カウンセラーコース〕

人間行動の意味とその背後にある、こころのメカニズムを実験的・理論的・臨床的に学ぶことができます。自己を発見し、苦悩する人びとに援助の手をさしのべることのできる、こころの専門家《認定心理士》の育成と家庭・企業・地域における人間関係の形成と維持を心理面から支えることができる実力ある社会人の育成をめざしています。

##### 〔言語聴覚コース〕

心理学、人間発達学、医学などの科学を通じてヒトを理解することを学び、「だれかの役に立ちたい」「支えになりたい」そんな気持ちを形にする対人援助の関連科目を通じて、ことばによるコミュニケーションにおける質の高い専門サービスが提供できる、実力のある《言語聴覚士》の養成を目指しています。

##### 〔救急救命コース〕

救急搬送される患者は偶発的な事故により身体的危機状態に陥るだけでなく、救急患者の心理は複雑である。身体的側面からだけでなく精神的側面からの援助の重要性を学び、危機管理の素養を身につけ関連する専門分野を教育することにより、ホスピタルケアを意識した《救急救命士》の育成と医療の現場における安全管理や災害発生時の保健医療活動に貢献できる人材の養成をめざしています。

#### 3. 人と社会に関する理論と実践を総合的に学ぶ

いずれのコースを選択しても、今後さらなる発展が予想されるヒューマンケアや心理学の諸領域において求められる学識と技能を有することで、社会の発展に寄与し、専門的職業に従事する人材を育成することをめざします。

#### 4. スキルアップを図る

本学科で主として養成する人材に加え、将来の目標や進路の可能性を拡げ、実現することができるよう、いずれのコースで学んだ者であっても、高等学校教諭1種(公民)、中学校教諭1種(社会)、日本語教員資格、レクリエーション・インストラクターなどの資格を取得することができます。

## ●子ども発達学科

本学科が掲げる教育目的とディプロマ・ポリシーのもと、「初等教育分野」「幼児教育分野」「特別支援教育分野」及び「保育分野」の4分野にわたって広く学べるように、「教養科目」「専門科目」及び「学部共通科目」からなる教育課程を編成しています。

「教養科目」は教育・保育者になるための基礎となるような科目群であり、「専門科目」は教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた教員免許状・保育士資格取得のための科目区分に従って分類しています。

また「専門科目」は専門教育だけに偏ることなく幅広い教養と豊かな人間性を養うように工夫された科目群です。

これらの科目を、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して履修し、幅広い教養と豊かな人間性を養い、教育・保育についての理論と実践を身につけることをめざします。

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与に関する方針）

---

### ・卒業の認定

所属する学部・学科が定める修業年限以上在学し、教養科目・学部共通科目・専門科目を学部・学科が掲げる目的や履修方法に従って所定の単位数以上を修得し、幅広い教養と深い専門性を修めた者に対し、卒業を認定します。

また、中学校・高校教諭や栄養教諭に係る教職に関する科目、学校図書館司書教諭専門科目を履修し、単位を修得した場合、20単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位数に含めることができます。

### ・学位授与の方針

所属する学部・学科での卒業が認定された者には、専門分野の名称を付記した学士の学位を授与します。

## ●総合福祉学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から10単位以上、学部共通科目の中から2単位以上、専門科目の中から60単位（学部共通科目2単位を超える単位は、専門科目の単位とすることができる。）以上を含め、合計124単位以上を修得した者で、「保健・医療・福祉分野における職業生活の中で実践し、日常の社会生活の中で行動するために必要な能力」を有したと認められた者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

卒業が認定された者には、学士（総合福祉学）の学位を授与します。

## ●管理栄養学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から22単位以上、学部共通科目の中から6単位以上、専門科目の中から78単位（基礎専門分野から27単位以上、専門分野から25単位以上含む。）、教養科目、専門科目及び自己設計科目の中から18単位以上を含め、合計124単位以上を修得した者で、「栄養や保健、医療の分野で活躍できる人」と認められた者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

卒業が認定された者には、学士（栄養学）の学位を授与します。

## ●心理学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から10単位以上、学部共通科目の中から2単位以上、専門科目の中から60単位（学部共通科目2単位を超える単位は、専門科目の単位とすることができる。）以上を含め、合計124単位以上を修得した者で、「生命の価値に対する真摯な倫理観を涵養し、人間の生涯にわたる心と身体の発達を理解して、支援できる力を受け止めることが出来る知性と感性を備えた人材」と認めた者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

卒業が認定された者には、学士（心理学）の学位を授与します。

## ●子ども発達学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から10単位以上、学部共通科目及び専門科目の中から60単位以上、合計124単位以上を修得した者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

子ども発達学科の教育目的に照らし、以下の資質・能力を身につけた者に学士（子ども学）の学位を授与します。

- (1) 幅広い教養に支えられた豊かな人間性と教育・保育に関する専門的知識及び技能を有している。
- (2) 関係者との協働を重視しながら現代の教育課題に向き合う実践的指導力を身につけている。
- (3) 市民としての自覚と国際的視野に基づいた批判的思考力及び創造的能力を備えている。

# 東海学院大学の教育方針（平成27・26年度入学者対象）

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成に関する方針）

教育課程は、前期、後期の2学期制をとっています。前・後期は、卒業の要件に算入される教養科目、学部共通科目及び専門科目によって教育課程が編成され、レベルや年次を考慮した体系的かつバランスのとれた科目配置をしています。

### 1. 教養科目

専門教育だけに偏ることなく幅広い教養と的確な判断力を養うとともに、人間性の涵養を図ることを目的とした科目であり、総合大学の特長を生かして、多数の科目を開講しています。

- ・「基礎ゼミナールⅠ」及び「基礎ゼミナールⅡ」は、学士課程への円滑な移行に必要な教育及び専門への導入のための基礎段階の演習科目です。
- ・「情報処理技能を高める科目」は、情報社会を主体的に生きるために必要な情報リテラシーの基礎を培う科目です。

### 2. 学部共通科目

専門への導入的役割を果たす科目であります。当該科目には、各学部・学科が専門を学ぶ上で必要と考える独自の科目を開講しています。

### 3. 専門科目

各学科の掲げる目的及び養成する人材を育成するため、講義、演習、実験・実習科目によって専門知識を学び、技術を身につけることができます。開講科目は、基礎的な科目から応用・発展的な科目へと移行し、卒業研究へとつながる系統的・体系的な編成がなされるとともに、免許・資格取得につながるコースなど、目標・進路に応じた教育課程になっています。

### 4. 教職及び司書教諭に関する科目

各学部・学科で主として養成する人材に加え、さらに意欲的に取り組んで可能性を拡げ、将来の目標や進路が実現できるよう教職及び司書教諭に関する科目を開講しています。

### 5. 資格科目

卒業要件に算入される教養科目・学部共通科目及び専門科目を開講する前・後期とは別に自由科目を設定し、本学独自の教育科目（全学プログラムと学科プログラム）を開講し、特別単位を認定しています。

資格科目のめざすところは、学生の主体的・自立的な「自己教育力」の開発・伸長を期待して、「教えこむ」という面より「学びとる」という面を強調するとともに、学生が健康で充実した学生生活を過ごし、卒業時に必要とされる「学士力」や「社会人基礎力」を修得させるもので、通常のカリキュラムでは実施できない内容を盛り込んでいます。

よって、個々の学生の多様な学習欲求や社会からの要望に対応して、以下の内容を主とする資格科目を構成し、学生に多様な選択の機会を与え、バランスのとれた人間教育を行うものです。

- ①学生の内発的要求にかなうもの
- ②共同研究やフィールドワークなどを通じて協調性や指導力などの資質を磨くもの
- ③情報を正しく収集して現実の社会を理解する力を身につけるもの
- ④学生の健康・体力づくりを支援するもの

- ⑤専門分野の研究などを通じて自己と社会との関わりについて考えを深め、前に踏み出す力となるもの
- ⑥望ましい職業観・勤労観、職業に関する知識・技能、進路選択に必要な能力や心構えを養うもの
- ⑦専門科目の授業内容を理解する上で必要である基礎学力の不足を補うもの

#### ・全学プログラム

総合大学の特長を活かして、「教養講座（講義、実習）」「健康・体力づくり講座（実技）」「資格対策講座」「キャリア教育講座」「特別講座」「研究プロジェクト提供講座」及び「リメディアル教育講座」を全学生対象に開講しています。

学科の特性を活かして、学生の学力の充実・伸長に役立ち、専門分野の研究を通じて自己と社会との関わりについて考えを深められ、また取得した資格・免許が社会の第一線で活かされるようなプログラムを学科所属の学生のみを対象に開講します。特に論理的思考力、課題解決力、自己表現力、チームワーク、指導力及び行動力を培える教育内容を取り入れます。

#### ●総合福祉学科

本学科では学科の目的を達成するために「社会福祉系分野」と「臨床工学系分野」を配置しています。

まず、「社会福祉系分野」では、教養科目、学部共通科目、専門科目、関連科目の構造のもとで、実際に人と接する際に不可欠となる相手を尊重する態度、身体の知識、こころの理解、介護の技術、医療の福祉の知識を深く学びながら、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士などの各種資格が取得できる教育課程となっています。

次に「臨床工学系分野」では、教養科目、学部共通科目、専門科目、関連科目の構造のもとで、実際に人と接する際に不可欠となる相手を尊重する態度、身体の知識、こころの理解、介護の技術、医療の福祉の知識を深く学びながら、現代の福祉環境を多角的、多面的に理解し、医療事務や医療知識と技能を学ぶことができるように教育課程を配慮しています。そして、臨床工学技士として医療福祉サービス関連企業、行政機関など幅広い領域で活躍できるカリキュラムとなっています。

#### ●管理栄養学科

本学科で養成する「管理栄養士」とは、傷病者と健康管理を必要とする人を対象とした栄養管理を行う医療系専門職で、厚生労働省が定める所定のカリキュラムを修了することで、国家試験の受験資格を得ることができます。教育課程編成の方針は次のとおりです。

1年次から4年次にかけて、幅広い教養と人間性を身につける教養科目、学部共通科目を配当し、専門科目は1年次より4年次まで、順次基礎から応用へ進みながら履修できるように配当しています。

4年次では、臨床栄養学の集大成としての卒業研究を設けています。専門科目については、コア、サブ、アップグレード、資格、集大成の5グループに整理し、1年次後期から順次履修できるよう授業科目を配当しています。

##### 1. コア科目

管理栄養士国家試験受験に必修の科目です。

##### 2. サブ科目

コア科目の内容を補強、又はより発展させる科目やコミュニケーション力育成の科目です。

##### 3. アップグレード科目

管理栄養士の資格を生かして各方面で活躍するために役立つ応用科目で、以下の4分野を設けています。

①臨床や医療での専門性を伸ばす、臨床検査技師分野

②行政職や教育職を目指す、栄養教諭分野

③食品開発や食品管理の専門家としての、栄養士分野

④研究職と健康のアドバイザーや研究開発の専門家としての、管理栄養士分野

##### 4. 資格科目

栄養教諭などの教員免許状取得に必要な科目です。

##### 5. 集大成科目

問題発見・解決能力、プレゼンテーション能力を養成する健康栄養総合演習Ⅰ・Ⅱ、臨床検査総合学、卒業研究です。

## ●心理学科

人間関係を築き自己実現を目指すために欠かせない、人間関係学と心理学、並びに言語学やコミュニケーション活動援助に関する知識と技術を学び、社会の一員として豊かな人生を創造するための具体的な見識を身につけた人材の育成を目指した教育課程を編成しています。

教育課程編成の方針は次のとおりです。

### 1. 対人援助における知識や技術を具体的に学ぶ

情報過多の現代社会のなかで自己実現を目指すためには、こころのメカニズムを学ぶ心理学、人の生活を支えるための理論と実践を学ぶ医療をはじめ、対人援助や情報活用に関する知識や技術が必要です。これらの科目を通して、豊かな人生を送るための基礎や具体的な方法を身につけることをめざします。

### 2. 「認定心理」、「言語聴覚」、「救急救命」の3領域で学ぶ

2年次からは専門性を高めるため、こころの専門家を育成する「認定心理コース」、ことばによるコミュニケーション専門サービス提供者を育成する「言語聴覚コース」、ホスピタルケアを意識した救急医療者を育成する「救急救命コース」に分かれます。

#### 〔認定心理コース〕

人間行動の意味とその背後にある、こころのメカニズムを実験的・理論的・臨床的に学ぶことができます。自己を発見し、苦悩する人びとに援助の手をさしのべることのできる、こころの専門家《認定心理士》の育成と家庭・企業・地域における人間関係の形成と維持を心理面から支えることができる実力ある社会人の育成をめざしています。

#### 〔言語聴覚コース〕

心理学、人間発達学、医学などの科学を通じてヒトを理解することを学び、「だれかの役に立ちたい」「支えになりたい」そんな気持ちを形にする対人援助の関連科目を通じて、ことばによるコミュニケーションにおける質の高い専門サービスが提供できる、実力のある《言語聴覚士》の養成を目指しています。

#### 〔救急救命コース〕

救急搬送される患者は偶発的な事故により身体的危機状態に陥るだけでなく、救急患者の心理は複雑である。身体的側面からだけでなく精神的側面からの援助の重要性を学び、危機管理の素養を身につけ関連する専門分野を教育することにより、ホスピタルケアを意識した《救急救命士》の育成と医療の現場における安全管理や災害発生時の保健医療活動に貢献できる人材の養成をめざしています。

### 3. 人と社会に関する理論と実践を総合的に学ぶ

いずれのコースを選択しても、今後さらなる発展が予想されるヒューマンケアや心理学の諸領域において求められる学識と技能を有することで、社会の発展に寄与し、専門的職業に従事する人材を育成することをめざします。

### 4. スキルアップを図る

本学科で主として養成する人材に加え、将来の目標や進路の可能性を拡げ、実現することができるよう、いずれのコースで学んだ者であっても、高等学校教諭1種(公民)、中学校教諭1種(社会)、日本語教員資格、レクリエーション・インストラクターなどの資格を取得することができます。



## ●子ども発達学科

本学科が掲げる教育目的とディプロマ・ポリシーのもと、「初等教育分野」「幼児教育分野」「特別支援教育分野」及び「保育分野」の4分野にわたって広く学べるように、「教養科目」「専門科目」及び「学部共通科目」からなる教育課程を編成しています。

「教養科目」は教育・保育者になるための基礎となるような科目群であり、「専門科目」は教育職員免許法・児童福祉法施行規則に基づいた教員免許状・保育士資格取得のための科目区分に従って分類しています。

また「専門科目」は専門教育だけに偏ることなく幅広い教養と豊かな人間性を養うように工夫された科目群です。

これらの科目を、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して履修し、幅広い教養と豊かな人間性を養い、教育・保育についての理論と実践を身につけることをめざします。

## ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与に関する方針）

---

### ・卒業の認定

所属する学部・学科が定める修業年限以上在学し、教養科目・学部共通科目・専門科目を学部・学科が掲げる目的や履修方法に従って所定の単位数以上を修得し、幅広い教養と深い専門性を修めた者に対し、卒業を認定します。

また、中学校・高校教諭や栄養教諭に係る教職に関する科目、学校図書館司書教諭専門科目を履修し、単位を修得した場合、20単位を超えない範囲で、卒業に必要な単位数に含めることができます。

### ・学位授与の方針

所属する学部・学科での卒業が認定された者には、専門分野の名称を付記した学士の学位を授与します。

## ●総合福祉学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から10単位以上、学部共通科目の中から2単位以上、専門科目の中から60単位（学部共通科目2単位を超える単位は、専門科目の単位とすることができる。）以上を含め、合計124単位以上を修得した者で、「保健・医療・福祉分野における職業生活の中で実践し、日常の社会生活の中で行動するために必要な能力」を有したと認められた者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

卒業が認定された者には、学士（総合福祉学）の学位を授与します。

## ●管理栄養学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から22単位以上、学部共通科目の中から6単位以上、専門科目の中から78単位（基礎専門分野から27単位以上、専門分野から25単位以上含む。）、教養科目、専門科目及び自己設計科目の中から18単位以上を含め、合計124単位以上を修得した者で、「栄養や保健、医療の分野で活躍できる人」と認められた者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

卒業が認定された者には、学士（栄養学）の学位を授与します。

## ●心理学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から10単位以上、学部共通科目の中から2単位以上、専門科目の中から60単位（学部共通科目2単位を超える単位は、専門科目の単位とすることができる。）以上を含め、合計124単位以上を修得した者で、「生命の価値に対する真摯な倫理観を涵養し、人間の生涯にわたる心と身体の発達を理解して、支援できる力を受け止めることが出来る知性と感性を備えた人材」と認められた者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

卒業が認定された者には、学士（心理学）の学位を授与します。

## ●子ども発達学科

### ・卒業の認定

4年以上在学し、教養科目の中から10単位以上、学部共通科目及び専門科目（特別支援学校教諭一種免許状と保育士資格に係る科目・単位については、どちらかに属する科目・単位のみを卒業単位として算入する。）の中から60単位以上、合計124単位以上を修得した者に対し、学長が卒業を認定します。

### ・学位授与の方針

子ども発達学科の教育目的に照らし、以下の資質・能力を身につけた者に学士（子ども学）の学位を授与します。

- (1) 幅広い教養に支えられた豊かな人間性と教育・保育に関する専門的知識及び技能を有している。
- (2) 関係者との協働を重視しながら現代の教育課題に向き合う実践的指導力を身につけている。
- (3) 市民としての自覚と国際的視野に基づいた批判的思考力及び創造的能力を備えている。

# 東海学院大学の教育方針（平成 25 年度入学者対象）

## 教養教育のめざすもの

### <方針>

教養教育は専門教育とならぶ大学教育の柱です。みなさんは学士となるために、まず教養教育で学問の基礎を身につけ、そして専門以外の幅広い知識を学ばなければなりません。本学は次の方針をもとに教養教育を行っています。

- ・大学での学びに必要な、読む、書く、聴く、調べる、そして発表、討論するという学習能力を磨きます。
- ・さまざまな分野の学問に接して、社会人としての人間性や社会性を支えるための幅広い視野と知識を身につけます。
- ・社会生活において、世界の多様な文化や社会事象を理解することができ、円滑なコミュニケーションをとることができます。

## 健康福祉学部のめざすもの

健康福祉学部は、学是「ひとつづくり」の理念に立脚し、共生・健康・福祉・栄養の視点から、教育・研究を行い、各専門分野の知識・技術と幅広い教養を身につけ、社会に貢献できる豊かな人間性と倫理性を備えた人材の養成を目的とします。

総合福祉学科は、人間の生活を福祉や生活支援といった面から学び、暖かな心を持った豊かな人間性を育むとともに、専門的な知識や実践的な技術を身につけた人材の育成を目的とします。

食健康栄養学科は、生命や人間性を尊重する精神に基づく栄養の専門知識と技術を有するとともに、保健、医療、福祉等の様々な分野の人々との連携のもとに地域の人々の健康増進及び疾病予防の援助並びに療養上の支援ができる人材の育成を目的とします。

## 総合福祉学科のめざすもの

### <ディプロマポリシー>

- ・幅広い教養を持ち、他者を思いやることのできる豊かな人間性および福祉専門職としての人権感覚に根ざした倫理観を身につけます。
- ・社会や組織の課題に対して常に積極的な関心を持ち続け、社会ニーズや生活ニーズを的確に把握し福祉専門職として誠実に対応できます。
- ・ホスピタリティの心と社会福祉制度や援助技術など科学的に裏付けされた専門的な知識・技術を2本柱として、福祉分野のみならず一般社会でも対応できるマネジメント力の習得ができます。
- ・さまざまな分野の人々の声に耳を傾け、自分の感情や考えを、相手に的確に且つ円滑に伝えるコミュニケーション能力と、国際化の進展やバリアフリーの普及、顧客の満足と生活の質の向上に貢献できる能力が育成されます。

### <カリキュラムポリシー>

本学科では、ホスピタリティを心の基礎として、社会福祉に関する専門的な知識や技術だけでなく、関連科目等を通して人間への思いやりや心遣いといった面についても深く学び、暖かい心を持った豊かな人間性を育むことができます。人間性と一般教養、福祉の専門知識や技術の修得により、福祉分野のみならず企業などのビジネス社会でも役立つ、スキルが身につきます。

また、福祉国家資格を目指す学生には体験的学習場面である福祉現場での実習を重視しています。実習では、さまざまな福祉サービス利用者とのかかわり（コミュニケーション）を通して、利用者のニーズを把握し、ニーズを満たすための支援を実践し、新たな福祉サービスの必要性などを体験的に学びます。これらの学びを深めるために、実習の前後には、少人数による事前指導、事後指導が行われています。

このように本学では、学内外での理論的・実践的な学習を通して、福祉の専門家としては勿論、他の分野でも生涯にわたり社会で活躍できる知識と技術を修得します。そして、社会福祉士、精神保健福祉士及び介護福祉士の国家資格の取得を目標にしている人は、通常の講義や実習に加えて計画的な受験勉強に取り組むことも必要でしょう。

※平成 25 年度入学者からコース別を廃止いたしました。

## 食健康栄養学科のめざすもの

---

### <ディプロマポリシー>

- ・管理栄養士として人々のQOL (Quality of Life) の向上の観点から食生活をとりまく課題を総合的にとらえ、保健・医療・福祉等の様々な分野で、ライフステージに応じた健康づくりの支援ができます。
- ・健康、栄養、食品に関する専門的知識、技術、技能があり、それを発揮できるコミュニケーション能力を身につけ、保健・医療・福祉の場における管理栄養士の役割を理解し、社会で活躍できます。
- ・病気の治療、再発防止、合併症予防を目的に、栄養と生活習慣の改善の面から傷病者に対する療養上の支援をすることができる管理栄養士としての能力を身につけます。

### <カリキュラムポリシー>

本学科のカリキュラムは、全学共通科目の「教養科目」・「自己設計科目」と健康福祉学部の「学部共通科目」とともに、「学科専門科目」と「自由科目」で構成されています。「学科専門科目」では、社会で活躍できる管理栄養士教育を目指し、管理栄養士学校指定規則に基づき「専門基礎分野」、「専門分野」において「社会・環境と健康」、「人体の構造と機能・疾病の成り立ち」、「食べ物と健康」、「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「栄養教育論」、「臨床栄養学」、「公衆栄養学」、「給食経営管理論」の9領域を柱とする科目を学年の進行に合わせて基礎から応用へと体系的に配置しています。そして、これら9領域の知識や技能を講義・実験・実習により修得し、臨地実習により実践力を身につけます。

また、各自の目的や関心に合わせた資格取得を希望する場合は、学修効果を自己分析しながら学科専門科目の「専門発達科目」と、「教養科目」、「自己設計科目」、「自由科目」などを組み合わせることにより、人々の健康を食から幅広くサポートできる多種多様な資格取得を選択することができます。

## 人間関係学部のめざすもの

---

人間関係学部は、学是「ひとづくり」の理念に立脚し、家族、学校、地域社会、企業などにおける人間関係の中で起こる、複雑で多様な心の問題、子どもの発達とその社会的、文化的環境の問題について学ぶことで、心理学の領域や子ども学の領域における専門的知識と技能を修得し、これらの諸問題に取り組むことのできる人間性豊かな人材の育成を目的とします。

心理学科は、多様で複雑な現代社会における心の形成、人間関係の諸問題に、心理学を通して取り組むことのできる創造性と豊かな人間性を育みます。その上で、心理学の基礎知識と研究法を修得するとともに、実験・社会心理学、教育・発達心理学、臨床心理学などの分野における専門的な知識と技能を備え、社会や家庭が直面する心の諸問題に対し、その専門性を応用できる人材の育成を目的とします。

子ども発達学科は、子どもとともに自らも成長・発達を図ることのできる創造性と豊かな人間性を育みます。その上で、人間発達、子育て支援、子ども文化の各領域を、保育学、教育学、心理学、福祉学などを通して学際的に学ぶことにより、子どもに関する専門的な知識と技能を備え、保育園や幼稚園、小学校などを取り巻く子どもの心身の問題や社会環境の諸問題について積極的に取り組むことのできる子ども学の専門家の育成を目的とします。

## 心理学科のめざすもの

---

### <ディプロマポリシー>

- ・豊かな教養に基づき、人間の心と行動の理解及び、心に関する諸問題の解決に必要な心理学的手法を、基礎から応用まで幅広くかつバランスよく学び、習得できます。
- ・問題への対処に際して、創造性を発揮しつつ、状況を科学的・心理学的に評価し、適切な心理学的手法を選択し、必要な分析を行って、的確な結論を導き出すことができます。
- ・問題への対処に際して、自らの興味・関心を自覚し、それに応じた専門領域の知識や技能の習得へと自らを動機づけることができます。
- ・心理学を習得した者として相応しいふるまいを、自らが所属する地域社会において発揮し、その責任を負うことができます。
- ・社会活動に積極的に参与しつつ国際社会にも目を向け、持続的・発展的に関わり続けることができるコミュニケーション能力を身につけ、自らの考えを的確に表現できます。
- ・心理学的手法に則った問題解決活動を、行動力を発揮しつつ展開できます。

### <コース別ディプロマポリシー>

## 臨床心理学コース

人間の不適応行動や問題行動について、調査・実験などを通して客観的に分析し、そのメカニズムやその背景を解明することができます。また、それらを解決する手助け（臨床心理学的援助）に関する基礎知識と必要な技法を活用できます。

## 教育・発達心理学コース

人間の心と行動が、生涯を通してどのように発達するのかを、調査・実験などを通して理論的・実証的に解明できます。また、いじめや不登校など学校教育や家庭教育が直面している課題に対して、実践的に取り組み、教育の改善に資することができます。

## 実験・社会心理学コース

知覚・認知・学習・社会・行動に関する心的メカニズムについて、実験や調査を実施して客観的に捉え分析できます。そして、心理学的知識と方法論を応用し、社会的問題に取り組み、解決を図ることができます。

## <カリキュラムポリシー>

心理学科は、幅広く心理学的なアプローチを採用することによって、人間の心と行動の理解および心に関する諸問題の原因と対処について学ぶ学科です。それを実現するために、「教養科目」と「学部共通科目」、「学科専門科目」を配置しています。「学科専門科目」は、コースの別に関係なく修得が義務づけられている「共通専門科目」・「専門関連科目」と、各コースの専門を追求する「コース別専門科目」から成っています。「コース別専門科目」は、「臨床心理学コース」、「教育・発達心理学コース」、「実験・社会心理学コース」の3コースに分かれています。

「学科専門科目」は、「教養科目」や「学部共通科目」で学んだことを基盤として、専門を追求するのに必要な、基礎的な心理学の知識やスキルを修得するための科目群で構成されています。具体的には、専門領域を絞る前に、幅広く基礎的な知識を発達心理学、教育心理学、実験心理学、社会心理学、性格心理学、臨床心理学の6つの必修科目で修め、さらに専門分野の選択を念頭に置いて、心理学を研究するための基礎的なスキルを心理統計学、心理学研究法、心理学実験、心理学検査実習、データ解析実習、心理学専門英語からいくつかを選択して修得させます。演習では少人数の参加型学習により、学生の主体的な学ぶ力を醸成させます。

コース別専門科目では、専門領域の追求を目指して、各コースにおいて必要な専門的知識やスキルを修得することに主眼を置いています。ただし、所属コース以外の分野への関心も広げ、統合的な視野を保つよう、コース横断的な履修を推奨しています。

臨床心理学コースは、心の健康と適応に関する問題を扱うために、心理臨床学やカウンセリングのスキルなど個々人に対する心理的援助の実践的手法を基礎から学ぶ科目群を展開しています。教育・発達心理学コースでは、人間発達のメカニズムやその教育への応用について学び、社会の中で適切な援助を行うための技能を修得する科目群を展開しています。実験・社会心理学コースでは、主に実験心理学的手法と調査法や統計的手法を用いて、人間や動物の心の仕組みや働き、対人関係や集団の問題を科学的に解明するために、知覚・認知・学習・社会など幅広い基礎的分野を展開しています。

これらを通した4年間の集大成が卒業研究であり、習得した知識とスキルを総動員して、自らの興味・関心に沿って、主体的に研究成果を結実させられるように丁寧な個別指導を行います。

## <コース別カリキュラムポリシー>

### 臨床心理学コース

心の健康と適応に関する問題を扱うために、心理臨床学やカウンセリングのスキルなど個々人に対する心理的援助の実践的手法を基礎から学ぶ科目群を展開しています。

### 教育・発達心理学コース

人間発達のメカニズムやその教育への応用について学び、社会の中で適切な援助を行うための技能を修得する科目群を展開しています。また、学校教育現場での活動に必要な教員免許状の取得を目指した科目群を、「専門関連科目」と「自由科目」に配置しています。

### 実験・社会心理学コース

主に実験心理学的手法と調査法や統計的手法を用いて、人間や動物の心の仕組みや働き、対人関係や集団の問題を科学的に解明するために、知覚・認知・学習・社会・行動など幅広い基礎的分野を展開しています。

## 子ども発達学科のめざすもの

### <ディプロマポリシー>

- ・生涯発達の視点から人間を理解し、他者との相互作用の過程を通して実践的に学び、子どもに関わる専門的知識を身につけます。
- ・人類が築いてきた文化全般に目を向けて、子どもの発達に関わる知識・技能を修得し、表現力や創造力を発揮できます。

- ・子どもの育ちと「子育て」を社会環境との関わりで捉え、自らの課題を見出し、分析し、解決に向けて考えることができます。
- ・人間発達に目を向けて学び続けるとともに、公平性、自律性、倫理性を高め、豊かな人間性を育むことができます。

#### <コース別ディプロマポリシー>

##### 保育・幼児教育コース

乳幼児期の成長・発達を、子どもを取り巻く環境から捉え、養育、保育、教育の場において、専門家として活躍できます。

##### 初等教育コース

幼児期・児童期の発達過程をそれぞれの子どもに則して捉えることができ、専門家として学習指導、生活指導に当たることができます。

#### <カリキュラムポリシー>

本学科のカリキュラムは、全学共通科目である「教養科目」と人間関係学部の「学部共通科目」とともに、「学科コア科目」、「学科選択科目」、「関連専門科目」、「自己設計科目」で構成されています。履修に当たっての基本的な考え方は、以下のとおりです。

- ・「学科コア科目」は、必修制となっています。履修過程を通して学問的方法を体系的に学び、各自の「子ども学」の形成を目指します。
- ・「学科選択科目」は、子ども学の領域を「子ども発達の領域」、「子ども文化の領域」、「子育て支援の領域」に分けて構成し、履修のバランスを図りながら、学問領域への関心を広げられるように選択制となっています。
- ・「関連専門科目」は子どもの専門家に求められる知識・技術を深め、「自己設計科目」とともに、資格取得に必要な科目群で構成されています。
- ・入学時から卒業に至る履修過程では、理論面と実践面とが往還的に学習できるような科目配列となっています。
- ・本学科は乳児期から学童期の総体を対象としているので、学科のカリキュラムを一本化し、2年次からのコース選択については、「履修モデル」の形式を採っています。